



## < 新 気になるよそ様の数値 - 総資本売上総利益率 (X3) - >

先月号まで3回にわたって本年4月以降提出される新しい財務諸表の改正点を説明していたため中断していましたが、「新 気になるよそ様の数値」シリーズを再開いたします。今回は総資本売上総利益率(X3)です。この指標は、収益性・効率性指標に属する指標で、計算式は以下の通りです。

$$\text{総資本売上総利益率(X3)} = \frac{\text{売上総利益}}{\text{総資本(2期平均)}} \times 100$$

$$\text{総資本} = \text{負債純資産合計}$$

総資本(2期平均) < 3,000万円の場合は、3,000万円とみなす。

この指標は、企業の調達した資本がどの位売上総利益(売上高 - 売上原価)を獲得したかを示す指標です。そして、下の計算式のように分解できますので、収益力の高さ(売上総利益 ÷ 売上高)と資本の効率的運用(売上高 ÷ 総資本)を競う指標といえます。収益力、資本の効率は高い方がよいので、数値は高いほど点数がよくなります。

$$\frac{\text{売上総利益}}{\text{総資本}} = \frac{\text{売上総利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$$

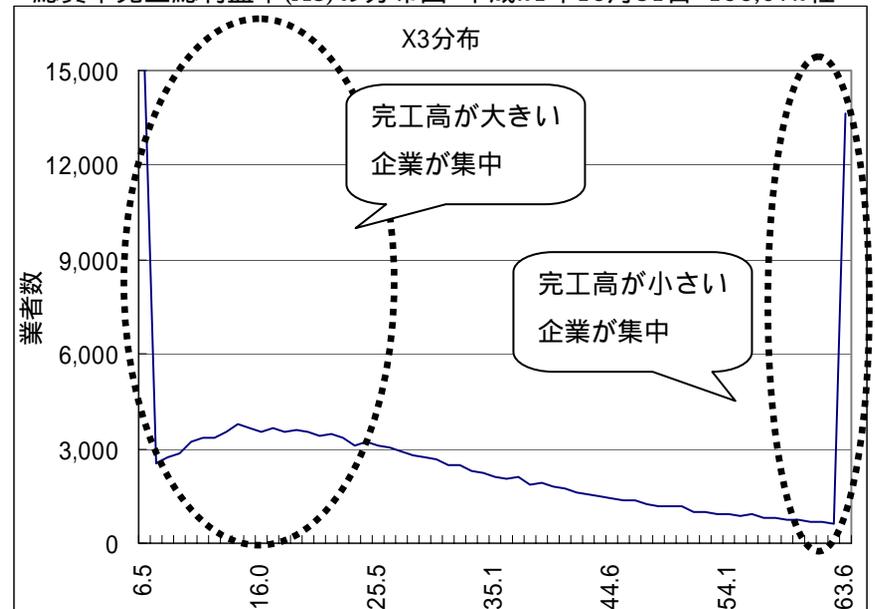
上限値は63.6%で、下限値は6.5%です。Y点への寄与度は21.4%と高くなっています。

右上のグラフは、総資本売上総利益率(X3)の分布図です。財務内容が二極化している状況がよく分かります。しかし、単に二極化しているわけではありません。右下の表の「総資本売上総利益率(X3)の完成工事高別平均点」を見ますと、完成工事高が小さい層ほど点数が高くなる傾向にあります。従って、点数の高い層には、完工高が小さい企業が集中し、点数の低い層には完工高の大きい層が集中する傾向があるということです。

この指標は、Y点への寄与度が高く、非常に重要な指標になっています。特に、規模の小さい企業においてY点で高い点数を獲得するにはこの指標と純支払利息比率(X1)とで点数を稼ぐ必要があります。

一方、規模が大きくなるにつれこの指標で点数を上げることは難しくなってきます。もっとも、大会社になれば、絶対的力量指標(営業キャッシュ・フロー(X7)、利益剰余金(X8))で点数を獲得できますのでこの指標で点数が低いことはそれほど気にならないかも知れません。従って、一番苦悩が大きいのは中間層といえるでしょう。

< 総資本売上総利益率(X3)の分布図 平成21年10月31日 156,972社 >



< 完成工事高別平均点 総資本売上総利益率(X3) 167,696社 >

完成工事高	平成22年4月16日現在
全体	28.615 %
100億以上	16.987 %
50億以上	16.864 %
20億以上50億未満	18.241 %
10億以上20億未満	19.888 %
5億以上10億未満	23.132 %
1億以上5億未満	29.923 %
0.5億以上1億未満	34.397 %
0.5億未満	26.059 %

データは公表されたものを集計したものです。

収益力を上げてこの指標の点数を上げるのは、現下の経済情勢では厳しいといえます。したがって、負債を減らして、資本の回転率を上げる戦略が大切です。すこしでもよい経営になることを期待しています。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)  
 今後「Wise FAXNET」送信不要  
 FAX送信はこちらまで **0269-65-4745**

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名とご担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名

TEL

FAX